

光天連シンポ

田中培生（東大理・天文センター）

大学は何をすべきか（観測天文学において）

我々は何がしたいか、我々は何をすべきか、
我々には何ができるか・・・

- ・ TAOの概要

 - 6.5m可視・赤外望遠鏡

 - チリ・アタカマの5600mに設置 --> 赤外性能

 - 予算額60億円、6年計画

- ・ 現在のTAO推進メンバー紹介

- ・ TAOの共同研究について考えていること

- ・ TAO計画に賛同していただいている多くの大学

 - の方々には、数ヶ月おきに現状報告（8月に#1）

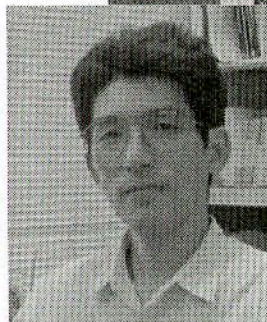
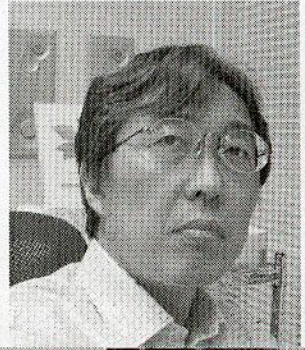
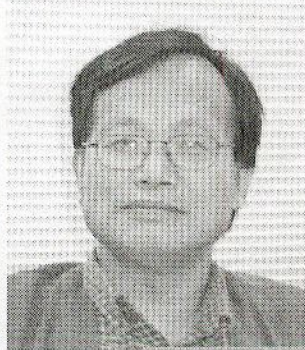
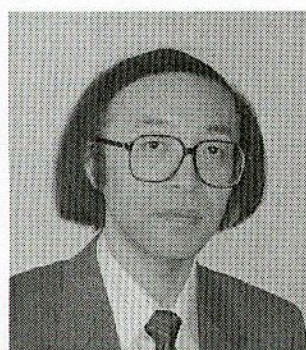
TAOがより多くの大学にとって

元気の出るプロジェクトになるように・・・

いろいろなご意見をお聞かせください

TAO推進メンバー

Member	Science	Telescope/ Instrument	Site Survey	Management
吉井讓	宇宙論 銀河形成・進化			方針決定 対外交渉全般
川良公明	銀河・QSO (可視・赤外)	機械系 可視装置	三鷹HQ	国外交渉
田中培生	星・星間現象 (赤外)	光学系 赤外装置	気象モニター	国内交渉
土居守	銀河・QSO (可視)	機械系 可視装置	シーイング モニター	資金計画、会計
半田利弘	銀河から惑星 (可視・電波)	制御系	三鷹HQ	チリ情報収集
峰崎岳夫	活動銀河 (赤外)	制御系 赤外装置		
宮田隆志	星 (赤外)	光学系 赤外装置	気象モニター	
本原顕太郎	銀河 (赤外)	電気系 赤外装置	シーイング モニター	
河野孝太郎	銀河 (電波)		現地作業全般	チリ情報収集



TAO型共同研究

- * 利用者すべてがTAOを自分たちの望遠鏡だと実感できる
- * 集中的利用と多くの人たちの実質的参加との両立を目指す
- * 観測・開発などでの参加希望者すべてが運用の全体をほぼ理解できる
- * 流行に乗るのではなくて、先の見えないおもしろさを試す可能性

完全公開会議

(一種のユーズミーツィング)

- ・ 3～6ヶ月（1観測期間）に一度、2日かけて行う
- ・ 参加者：関心のある研究者、企業・マスコミなどの一般の人
- ・ 前半：今期の成果報告、運用委員会報告
- ・ 後半：次期観測プロポーザルの発表（前もって簡単な要旨を提出）
観測グループ（下記）である程度まとめる
その場で、どの観測をするかの大まかな方針を決定

運用体制

- ★ 所長・副所長（計3名）
 - ・ 経営（人事・予算）および運用（観測スケジュールを含む）に責任（決定権）を持つ
- ★ 運用委員会（～10名：所長・副所長、
望遠鏡担当・装置担当・ソフトウェア担当、現地運用担当）
 - ・ 基本的な保守・維持に責任を持つ
- ☆ 観測グループ（各5～10名、3～5グループ、臨機応変に変動）
 - ・ すべての観測者、共同研究者はどれかの観測グループに参加する
 - ・ すべての観測テーマはどれかの観測グループに含まれる
 - ・ 観測グループ（メンバー）はそのグループが担当するすべての観測テーマに関して、観測計画の立案、観測（望遠鏡及び観測装置の効率的な運用を含む）、解析、報告などに対して共同責任を持つ